

ふじしろ政夫と共に市政を変える会ニュース

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50
Eメール masao.fujishiro@zc.wakwak.com

2010年2月号
TEL & FAX 047-445-9144
ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

北総鉄道の運賃大幅値下げを！

成田空港線運賃認可申請・公聴会

新京成・東武・北総3線が交差する鎌ヶ谷の交流拠点としての発展の可能性・方向性を高める為にも、都心に近い北総鉄道の運賃を値下げする必要があります(5%ではスズメの涙にもなりません)。高い運賃では住民の利便性は無いに等しくなってしまう、3線交差の利点も十分に発揮できません。

今年7月には成田新高速鉄道が開通。高砂～空港間を36分で結ぶ時速160kmの新型スカイライナーが走ります。運行予定はピーク時に1時間に直通3本、新鎌ヶ谷駅に止まる特急は3本(日中は1～2本)とのことです。また、北総鉄道は今の段階では日医大止まりです。

成田空港線の運賃上限認可申請が昨年12/16京成電鉄から国交省に対して出されました。公聴会は1/26・28の二日あり28名の公述人がそれぞれの立場から公述しました。(ふじしろ政夫は1/28反対の立場で公述しました)

1kmから33kmの間は、現行の北総鉄道の高い運賃(200円～820円)をそのまま適用、空港までのあと約20kmは130円をのせるだけの体系です。これでは都心から成田空港への利用者の利便性しか考えていない運賃です。



北総線沿線の住民が“生活で使うとき”は高い運賃といった利用者によって運賃体系の違うものが適用されるのは鉄道事業法16条5項で禁止されている“特定の旅客に対して不当な差別的取り扱い”になるのではないのでしょうか。

又、今回の京成電鉄の申請から北総鉄道・成田空港線は実は成田空港と都心を結ぶ(成田空港-都心-羽田空港)空港政策の鉄道路線そのものであることが明らかになったのではないのでしょうか。



最速160キロ「新型スカイライナー」

生活路線と思われていた北総鉄道で、まさに新幹線仕様の工事が行われていたことから明らかです。国の空港政策としての成田空港線の開通を契機に北総線の運賃を値下げさせる為、国もかかわるべきだと思われま

☆☆“きり先生”の光と影☆☆

平成15年、少人数学級を実現するため“きり先生”が誕生しました。小学校9校すべてに配置されました。当時少子化が進む中、新しい教員が採用されない状況が続いておりました。40人学級の中でも何とか少人数学級の良い点を実現させようと、非常勤ですが“きり先生”が採用されたのです。

若い先生が来て、生徒たちにはすこぶる評判が良かったです。今では小中学校14校すべてに配置されています。

ところが時給1260円、一日7時間労働、週4日の仕事日、年収は150万円弱、夏休みは収入なし…といった勤務実態が問題として指摘され始めています。“官製ワーキングプア”をつくり出している状況です。そのような低賃金なので募集しても応募する人が少ない状況が、ここ数年続いており採用にも苦労しているとのことです。抜本的解決が必要だと思われま

“不当判決” ハッ場ダム住民訴訟

不合理であるとまでは認められない??

政権交代後初めてのハッ場ダム住民訴訟の判決が1/19千葉地裁で下されました。希望者も多く抽選での傍聴。主文“…却下…棄却裁判費用原告負担”。なんだこれは！おかしい！不当だ！原告および傍聴席からは怒りと批難の声が上がりました。ただちに高裁への控訴手続きがとられました。

訴訟弁護団からは「今回の判決は、先に出された東京地裁の判決を下敷きにして書いたとしか思えないひどいもの」「裁判中に水源・治水にとってハッ場ダムが必要ないことが立証されているのに否それ故に、判決理由では①水源予測が多すぎるとしてもその『予測値が明らかに不合理であるとまでは言えない』と②治水に役立たないとしても『カスリーン台風の場合にはハッ場ダムの治水効果は無いと認められるが…治水効果がないとは認められない』『水量が大きくなる可能性が皆無ではない』といった行政側のもつ裁量権を拡大させることで、不当な判決が出された」と判決について鋭く批判した説明がされました。



平成22年度予算案260億円

鎌ヶ谷市の平成22年度の予算案が議員に対して示されました。一般会計260億円は昨対16億円増です。

緊急雇用創出事業で9700万円。子ども手当



ほほえみ先生

13億円、自立支援対策・生活保護に要する経費などで19億円(昨対3億3千万円増)と民生費が約18億8千万円増の103億5800万円で構成比39.7%の予算案が組まれています。土木費は4億円ほど減り30億円です。

世界的不況で厳しい経済状況・雇用状況下、教育・福祉・安心安全な街づくりへとシフトさせた予算組が摸索されています。ただ臨時的財源による点は今後の課題です。3月議会で審議。

かまがやの

地域医療をつくりましょう

①夜間・休日診療の課題

船橋医師会と一緒に実施していた夜間・休日診療を鎌ヶ谷総合病院の開院を契機にやめてしまった(H20年からやめた為2700万円の財政効果?)がために、体制としての“地域医療”を形作るには、鎌ヶ谷総合病院にすべてを“オンブにダッコ”をしなければなりません。

しかし鎌ヶ谷総合病院は当初の予定であった『24時間365日小児救急を含む救急体制』は実施できずに今日まで推移しています。小児救急の夜間診察は1週間に1日のみの状況です。

課題解決には、鎌ヶ谷医師会・船橋医師会との広域連携の必要性が求められるのではと思われれます。(ふじしろ政夫)

かまがや環境フェア〜〜STOP地球温暖化

鎌ヶ谷の環境を考え行動している団体が一同に会しての環境フェアが総合福祉保健センター6階で展示と活動報告・上映会等と行われました。



MOTAINAI・・・足元から

1/17日総合福祉保健センターで午前、EARTH(地球)映画を見、午後「林家ライス・カレー子」のエコ漫才を聞きました。

今まさに私たちの毎日の生活の暮らしが、温暖化という現象を引き起こし白熊が絶滅寸前であることや、身近な動植物などが減少・滅亡していることが解りました。

題目はエコ漫才で再認識し①ゴミを減らす。商品包装であれば用途ですが、空ければゴミとなり、焼却すればCO2の発生となる②もったいないと思い、水・電気・ガス等節約すれば財が生まれる。かまがや環境フェアに参加し身につまされるほど学びました。東道野辺 牛込哲三

***** お知らせ *****

▽地域医療視察報告会：社会・無所属の会

2月21日(日) 13:30～ まなびい

▽法律弁護士無料相談 要予約：ふじしろ迄

2/20(土)・3/20(土)・4/24(土) 13:00～

▽碁楽会 毎週金曜日 13:00～トライ事務所